

気候情報

2015年1月の日本の天候

- 北日本から西日本にかけて気温が高かった
- 日本海側では、降雪量が少なかった
- 東日本太平洋側と西日本では降水量が多かった
- 沖縄・奄美では降水量がかなり少なかった

1月の天気概況

上旬は冬型の気圧配置とともに強い寒気が南下し、ほぼ全国的に気温が低くなり、日本海側では大雪となった。しかし、中旬以降は、寒気の南下が弱く、低気圧の接近に伴い暖かい空気が流れ込んだため、月平均気温は、北日本から西日本にかけて高かった。低気圧の影響で、東日本太平洋側と西日本では月降水量が多くなり、西日本太平洋側ではかなり多くなった。沖縄・奄美では、低気圧の影響を受ける日は少なく、大陸から張り出す高気圧に覆われやすかったため、月降水量は少なかった。また、日本海側の月降雪量は少なく、北日本日本海側ではかなり少なかった。

上旬：3日にかけて強い冬型の気圧配置となり、日本付近には強い寒気が流れ込んだ。このため、全国的に気温が平年を大幅に下回り、北・東・西日本日本海側では大雪となった。西日本では雪雲が太平洋側にも流れ込んで各地で積雪となり、3日には京都で積雪が22 cmとなった。4日から6日は冬型の気圧配置は緩み、気温は平年を上回る所が多くなったが、7日以降は冬型の気圧配置となり、日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では寒気の影響で曇りの日が多かった。旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で低かった。旬降水量は、北・東日本日本海側が多かった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。旬間日照時間は、北・東日本日本海側で少なかった。一方、西日本日本海側では多かった。

中旬：14日から15日にかけて低気圧が本州南岸沿いを発達しながら東へ進んだため、全国的に天気が崩れた。その後も、低気圧が日本海を短い周期で通過したが、寒気の南下は一時的で、降雪量は山沿いや北海道の一部で平年を上回ったものの、平地では平年を下回った。太平洋側では晴れの日が多かった。北海道では旬の前半は暖かい空気が流れ込み、気温が平年を大幅に上回った。沖縄・奄美は、大陸からの高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りの日が多かった。旬平均気温は、北日本と西日本で高かった。旬降水量は、東日本太平洋側と西日本で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。旬間日照時間は、北日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本太平洋側と西日本日本海側では多かった。

下旬：低気圧が数日の周期で本州付近を通過したため、日本海側では曇りや雪または雨の日が多かったが、降雪量は少なかった。26日から27日の低気圧の通過時は、日本付近に暖かい空気が流れ込み、北・東・

西日本の気温は平年を大幅に上回った。30日は低気圧が本州南岸沿いを北東進したため、ほぼ全国的に雨または雪となった。東北太平洋側や関東甲信地方では雪の所が多く、石巻（宮城県）では積雪が27 cmとなった。沖縄・奄美は大陸から張り出す高気圧に覆われ、晴れる日が多かった。旬平均気温は、北・西日本でかなり高く、東日本で高かった。旬降水量は、西日本でかなり多く、北・東日本太平洋側が多かった。一方、北日本日本海側ではかなり少なく、東日本日本海側では少なかった。旬間日照時間は、北・東日本太平洋側、西日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側、西日本太平洋側で少なかった。一方、北日本日本海側、沖縄・奄美では多かった。

1月の気候統計

月平均気温：北・東・西日本で高かった。沖縄・奄美は平年並だった。

月降水量：西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側が多かった。一方、沖縄・奄美はかなり少なく、北日本日本海側は少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側は平年並だった。

月間日照時間：東日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側と北日本太平洋側で少なかった。東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

1月の記録（1位更新のみ）

・月降水量少ない方から（mm）

北見枝幸 31.0 沖永良部 7.5 名護 23.0
久米島 39.5

2015年1月の平年差（比）図

